

「CSR&コンプライアンス研究フォーラム」ニュース 32

発行：「CSR & コンプライアンス研究フォーラム」 広報委員会
〒 105-0003 東京都港区西新橋 1-14-7 山形ビル3階
TEL 03 (3504) 9800 FAX 03(5157) 3180
E-Mail csm-hq@eco-texj.co.jp
HP : <http://www.eco-texj.co.jp>

2007年
6月7日発行

初夏の候、ますます御健勝のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

研究フォーラム・ニュース 32号を配信させていただきます。

1. 5月24日第27回フォーラムセミナー開催されました。

<「正しいもの」を求められる時代に>

開催にあたり東京工業大学名誉教授・当研究フォーラム清水二郎顧問からお話をいただきました。

先回、20世紀「ものづくり」の時代から21世紀は「ものごとづくり」の時代へ移りつつあるという話に触れました。

今回はその変遷には、GDPと豊かさへの上昇過程があり、そこにはまずは「安いもの」を求めた時代から、「良いもの」を、さらに「優れたもの」が求められ、今や「正しいもの」が求められる時代を迎えつつあり、その「正しい」ことは何かを考える必要があることをお話いただきました。

<「REACH 施行」、「子供用衣類の安全確保が」・・・>

事務局より CSR 最新情報がありました。

- ・ 6月1日施行が決まった EU の REACH 規則について日本でも対応備えが必要
(日経エコロジー2月号)
- ・ REACH に対する日本の中小企業の理解不足浮き彫りに
(日経エコロジー5月号)
- ・ 中国製玩具に塩ビ添加剤に禁止物質混入
(日経エコロジー4月号)
- ・ 東京都は「子ども用衣類の安全確保」で JIS 化の早期作成など要請
(日本繊維新聞 5月21日)

<CSM2000 構築「環境分野」の解説進む>

前回のフォーラムセミナーに引き続き「環境分野」について事務局より説明させていただきました。

<欧州の新たな化学物質規制 (REACH 規則) の概要>

事務局の最新情報として幾度か取り上げてまいりました REACH 規則について経済産業省製造産業局・化学課機能性化学室・産業連携係長・釜瀬俊之氏からご講演をいただきました。

これまで化学物質の安全評価においては、新規化学物質に比べて、約10万種ある

既存化学物質についての対策が遅れており、これらの物質についても登録等の義務を設け、その安全評価の義務を規制当局から産業界に移管したことなどの特徴とその全体像をお話いただきました。

また日本国内での対応、EU圏との関連を説明いただくとともに、これらに関連し日本産業界で取り組みが開始された「アーティクルマネジメント推進協議会」についても触れていただきました。

2. 第28回フォーラムセミナー開催ご案内

次回フォーラムセミナー

7月6日金曜日・14:00から17:00

(17:00から懇親会を開催)

テーマ予定

(1) CSR、環境関連情報の講演

社団法人 プラスチック処理促進協会から講師にきていただき

「プラスチック類の3Rと環境影響について」(仮題)

ご講演いただきます。

(2) CSR関連最新情報

(3) 「CSM2000構築の全て」の安全衛生・健康要求分野について

別紙「出欠連絡表」をご利用いただき、メール添付またはFAXにて、6月30日金曜日までにご出席いただける方のお名前をお知らせくださるようお願い申し上げます。

以上